



絵本で深める親子の絆 「絵本専門士と親子のふれあい絵本タイム」



8月30日（日）横手市生涯学習館 Ao-na 内にある横手図書館を会場に、「絵本専門士と親子のふれあい絵本タイム」が開催されました。このイベントは秋田県教育委員会の主催で8組の親子（0～3歳児とその保護者）が参加しました。講師は絵本専門士の方が務め、ご自身の子育ての経験を交えながら、絵本の魅力や子どもの年齢に合った絵本の選び方などをお話いただきました。

読み聞かせの途中には、絵に合わせて親子でジャンプしたり、風船を使った遊びで体を動かしたりするなど、全身を使って絵本に親しんでいました。参加したみなさんは、絵本を通して親子のふれあいを大いに楽しんでいました。

※絵本専門士：絵本に関する高度な知識と技能を持ち、学校や地域などで読み聞かせや支援を行う絵本の専門家

多くの学び、楽しく体験 「県南地区放課後支援者研修会」

9月15日（火）美郷町公民館・南ふれあい館・南体育館を会場に、「県南地区放課後支援者研修会」を開催しました。

研修Ⅰは、南教育事務所仙北出張所指導主事の石川裕子氏より、「笑顔の居場所づくり」と題して講話をいただきました。子どもの気になる行動を減らし、よい行動を増やすためには、注意するだけではなく子どものよさに目を向け認めていくことも必要だということや、支援者の笑顔が子どもの気持ちの安定につながることなど、すぐに生かせるスキルやヒントをたくさん教えていただきました。

研修Ⅱは、3つのプログラムに分かれての実技研修でした。内容は保呂羽山少年自然の家指導チームの皆様による「仲間づくりゲーム」、県立農業科学館学芸主事の照井梓氏による「押し花でしおり作り」、NPO 法人みさぽーとの皆様による「モルック体験」でした。

「仲間づくりゲーム」では、道具を使わずにすぐできる遊びをたくさん紹介していただき、参加者のみなさんは終始笑顔で楽しんでいました。「しおり作り」では、押し花をあしらったしおりの作り方に加え、身近にある植物を押し花にする方法も教えていただき、興味深い内容でした。「モルック体験」では、モルックを初めて行う人が多くいましたが、体験をしていくうちにグループの人と喜びを分かち合ったり、声を掛け合ったりして、会場全体がとても盛り上がりしました。3つのプログラムとも、放課後子ども教室や放課後児童クラブで活用できる活動をご紹介いただきました。

120名以上の参加があり、笑顔と熱気に包まれた実りある研修会となりました。



※裏面に参加した方々からの感想を載せています→

参加した方々の感想から

研修Ⅰ 【講話】

- ・「困った子」ではなく「困っている子」という言葉が印象に残った。子どもの笑顔を原点に今一度、支援の仕方を顧みる機会になった。
- ・日頃悩んでいた事について活かせるお話を聞くことができた。参考にしていきたい。
- ・子どもとの関わり方、毎日の接し方が分かりやすかった。今いる子どものよいところを引き出していこうと思った。



研修Ⅱ 【実技研修】

（仲間づくりゲーム）

- ・準備するものがなく、体一つでできることがとてもよい。これから学童の子どもたちと一緒に活用していきたい。
- ・気軽にできるゲームばかりだったので、すぐに実践してみたいと思う。



（押し花でしおり作り）

- ・押し花の作り方も丁寧に教えていただいたし、しおり作りもすごく楽しかった。子どもたちとやったら盛り上がりそうだなと思ったので、ぜひやってみたい。
- ・とてもきれいな押し花の作り方を指導していただいたのでぜひ作ってみたい。季節の花、葉の美しさを生かしながら。



（モルック体験）

- ・TVや動画でみたことはあったが、やる機会がなく、今回やってみてとても楽しかった。
- ・初めてモルックを体験し、競技の学習だけでなく、他の支援員とのコミュニケーションもとれて大変満足した。子どもたちにもこの体験をしてもらいたい。

